【資料３】

一般国道４５２号建設に係る進捗状況について

（令和６年５月１７日現在）

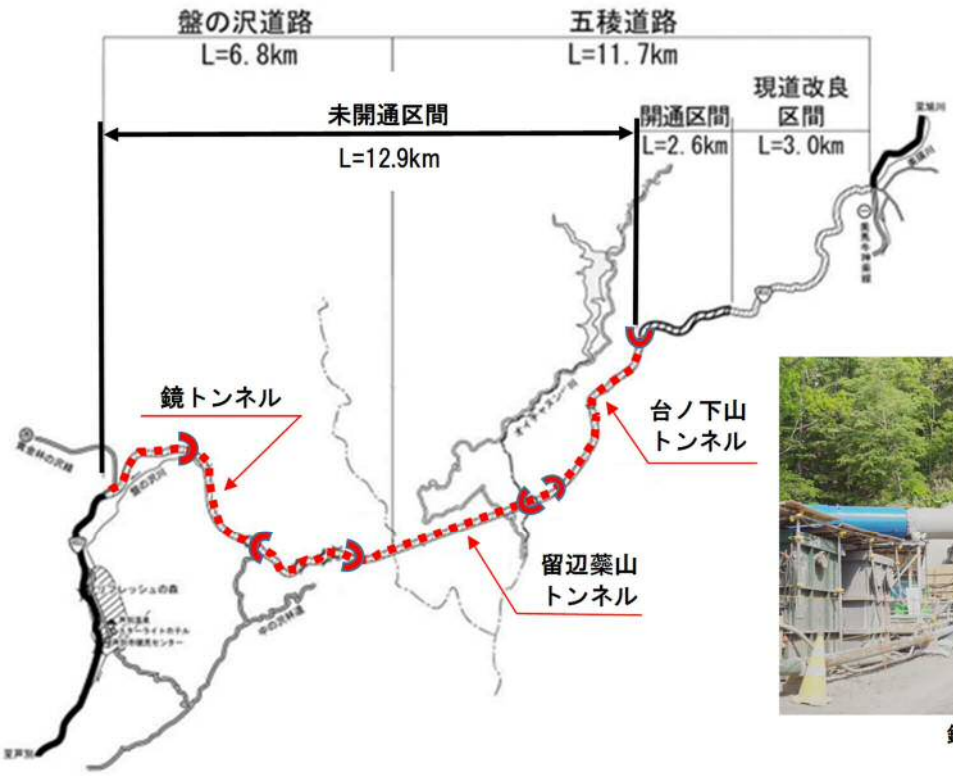
一般国道４５２号は、夕張市を起点として旭川市に至る延長約１１０ｋｍの道路で、現在、芦別から旭川間の１２．９ｋｍが未開通区間となっています。

これまで未開通区間においては、主に軟弱地盤対策工事が実施されているほか、令和３年度から盤の沢道路側の鏡トンネル工事（延長２．１ｋｍ）が着手され、蛇紋岩（じゃもんがん）という非常に脆弱な地質であることから、当初予定していた令和７年３月までの貫通が困難となり、今年５月に鏡トンネルの第２期工事が発注され、令和９年３月までの工期として、約７８０ｍのトンネル工事が施工されるところです。

なお、令和６年度国道４５２号の建設に関連する予算については、盤の沢道路として約２６億円、五陵道路で約３億８千万円の合計２９億８千万円が確保されており、一般国道４５２号建設促進期成会（５市３町）では、未開通区間の早期開通に向け、引き続き北海道開発局のほか、国土交通省、財務省、観光庁の関係機関へ要望を行ってまいります。

全　体　図

未開通区間　詳細図



鏡トンネル工事の状況